



超行動派。

横浜市議員(旭区選出)

民権フォーラム横浜市議員団所属



2018年 9月号

こがゆ康弘

市政報告

連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (こがゆ康弘事務所) ホームページは [こがゆ](http://www.kogayu.net) 検索

TEL/FAX: 045-366-9381 メール: info@kogayu.net <http://www.kogayu.net>

考えてみよう 地域の防災訓練に参加することの大切さを!

9月1日は「防災の日」です。これは1923年(大正12年)に関東大震災が発生した日付に由来しています。そしてこの日を含む期間(8月30日~9月5日)は防災週間として、各地で防災意識を高めるための活動が行われます。旭区でも、各連合町内会で防災訓練が行われる予定となっています。

しかし、こうした防災訓練への参加人数は決して多くないのが実情です。「自分には関係ない」「行ってもつまらない」「ほかに用事があるから」・・・しかし、大きな地震が発生したとき、自分は何をすればいいのか、どこに行けばいいのか、パニックになる方が多いのも事実です。大規模災害発生した場合、市や消防署なども必死で救助活動を行います。同時多発的に救援要請が入るため、とても全てに対応することはできません。

	関東大震災	東日本大震災
発生日時	1923年(大正12年) 9月1日(土) 11:58	2011年(平成23年) 3月11日(金) 14:46
マグニチュード・ 最大震度	マグニチュード : 7.9 最大震度 : 震度7	マグニチュード : 9.0 最大震度 : 震度7
死者・ 行方不明者	約10万5千人 (主に火災による)	18,434人 (主に津波による)

こうした場合、自分の身を守り、助けが必要なご近所の方を救助するのは私たち自身です。災害の規模が大きくなればなるほど、「自助(自分の身は自分で守る)」「共助(近隣住民が力を合わせて助け合う)」が重要となります。地域の防災訓練に積極的に参加して、自分の住んでいる近隣にどんな人がいるのかを知り、地域での協力体制を築くことが、人的被害を最小限とすることにつながります。

防災訓練の目的(主なもの)

- ① 避難場所の確認や避難経路の確認
- ② 初期消火・応急救護方法の習得(消火器・AED等)
- ③ 避難所の開設・運営の理解(トイレ・飲料水など)
- ④ 地域における役割の理解と協力体制の構築



家庭でもできる「防災訓練」

- ① 災害時の連絡方法や役割についての定期的な話し合い
- ② 非常持ち出し品の点検や補充、消火器機の確認
- ③ 非常時備蓄品のチェックと補充、家具・家電製品の固定
- ④ 生活シーン(食事、就寝中など)を想定した身を守るための行動の確認

防災訓練に参加し防災意識を高めていくことで、災害時には少しでも危険要因を減らすことができ、あわてずに行動することができます。そしてそのことが、自助・共助のための大きな一歩となります。

こがゆ康弘は各地域で実施される防災訓練への参加や被災地の視察、議会での質疑などを通して安心・安全のまち横浜に向けた施策の展開に全力で取り組んでまいります。

平成30年度地区連合防災訓練予定日(詳しい時間・雨天時の対応等については各自治会にお問合せ下さい)

地区	予定日	場所	地区	予定日	場所	地区	予定日	場所
さちが丘	9/1(土)	さちが丘小学校	希望が丘	9/8(土)	希望ヶ丘小学校	旭北	10/6(土)	旭台中央公園
上白根	9/2(日)	ひかりが丘地域77'ガ'	白根	9/9(日)	白根公園	左近山	10/7(日)	左近山中学校
川井	9/2(日)	都岡スポーツ広場	鶴ヶ峰	9/16(日)	鶴ヶ峰小学校	二俣川NT	10/20(土)	旭中学校等
希望が丘南	9/2(日)	ポ'リテセンター関東	若葉台	9/16(日)	地域防災拠点等	希望が丘東	11/3(土)	中尾小学校
二俣川	9/2(日)	二俣川小学校	市沢	9/30(日)	市沢小学校	笹野台	11/4(日)	笹野台小学校

7月の「西日本豪雨災害」被災地支援のボランティアに参加して・・

今年7月5日から8日にかけて西日本を襲った記録的豪雨により、死者220人以上、住宅の全半壊15,000棟以上、床上・床下浸水29,000棟以上(8/21 現在消防庁情報)という大きな被害が発生し、今も多くの方が避難所生活を余儀なくされています。改めて、この度の豪雨災害によって亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にご心からお見舞いを申し上げます。

被災地の方々がこれまでと変わらぬ日々の暮らしを取り戻すために、少しでも力になりたいという思いから、こがゆ康弘は、7月21・22日の2日間、広島市での被災地支援活動に参加しました。

現地に着いて最初に感じたのは、自然(=水)の力がこんなにも恐ろしいものかということでした。昨日までの生活が一瞬にして瓦礫と化し、生活もろとも奪われて呆然としている住民の方を多く見ました。鉄道や生活道路の橋も落ち、一部のライフラインは復旧のめどが立っていないという厳しい環境の中で、被災者の方々は先の見えない不安を抱えていました。

そんな緊迫した雰囲気の中で、流入した土砂の撤去と土のう壁作りを行いました。広島地方はこの日も猛暑が続き、熱中症防止のため作業時間も限られます。やるべきことは山ほどあるのに、連日の猛暑と人手不足で思うように進まず、そのことも住民にとって大きなストレスになっています。

＜いま私たちにできることは何なのか＞

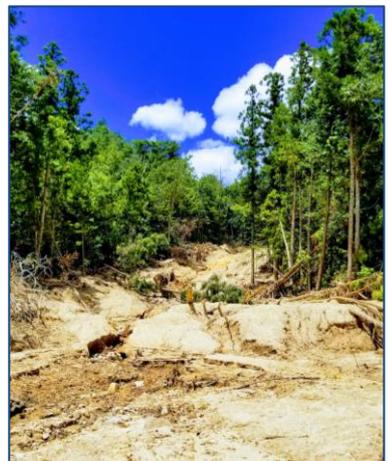
私たちに今できることは何かと考えたとき、後片付けの手伝いだけでなく、心のケア等を含めた生活全般の支援と、様々な機関を通じた寄付・募金での継続的な支援と感じます。被災地を見て思うのは、復興・復旧にはこれからまだ数年はかかります。先細りすることなく継続的に支援を行っていく必要があります。

＜横浜は大丈夫か＞

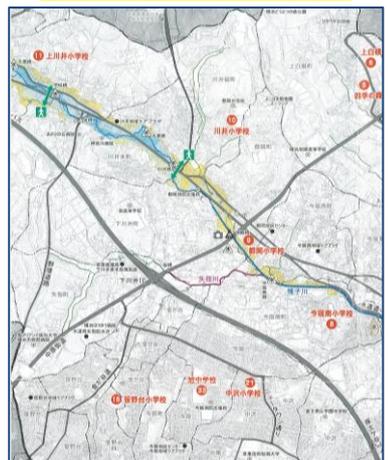
これまで横浜市では、豪雨災害への備えとして想定降雨量に耐えうる河川改修と洪水ハザードマップ等で対処してきました。しかし、これからは「想定外」を想定する必要があります。被災地でも「まさかこんなことになるなんて…」という声を多く聞きました。市民一人ひとりが災害時の避難意識を高め、「逃げ遅れゼロ」に向けた防災計画の見直しなどが重要です。こがゆ康弘は今回の経験をもとに、自然災害から市民の命とくらしを守るため、今後も政策の提言を行います。



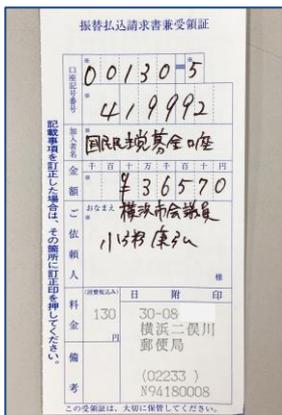
猛暑の中、復旧活動に参加



山が崩れ土砂が流入する



旭区の洪水ハザードマップの一部



＜募金活動を実施！＞

被災地の復旧と被災者の生活再建に向けて、二俣川駅にて募金活動を行いました。その結果、36,570円もの義援金をお預かりしました。この義援金は国民民主党本部から日本赤十字社を通して全額被災地にお届けいたします。ご協力頂いた皆様にご心から感謝申し上げます。



横浜市議員 (旭区選出)
こがゆ康弘 プロフィール
やすひろ

超行動派。

昭和42年鶴見区生まれ。早稲田大学大学院卒業後13年間の民間企業勤務を経て、横浜市議員に。2006年初当選(現在4期目)

【2018年度】
常任委員会：子ども青少年・教育委員会 (副委員長)
特別委員会：健康づくり・スポーツ推進特別委員会
国民民主党神奈川県連幹事長代理

facebook
FACE BOOKのウェブから「こがゆ康弘」で検索

小さなことでも気軽に
ご相談下さい!
“地域の声”が活動の源です!

連絡先：〒241-0821 旭区二俣川1-5 (事務所)
TEL/FAX：045-366-9381
メール：info@kogayu.net
http://www.kogayu.net



こがゆ 検索